

鶴岡のお米お届けいたします

(株)アシスト
2021.4月号



ようやく雪が溶け、田んぼの表面が見えはじめ、天気の良い日にはトラクターで田んぼの耕起作業が始まっております。その作業の様子等、これまでにお伝えしてきたアシストの活動を、より細かく、チラシ作成担当独特の感性で、写真を撮りまくり、皆様にお伝えできればと思っております。
↓の写真は委託の数も年々増え続け、作業効率を図るため、更に1台購入したトラクターの紹介です。

クボタトラクター MR1050 新車納車!!

新車で購入したトラクター。クボタの従業員と一緒に実演

を兼ね
田んぼで
試運転。
内装装備
の充実が
行き届い
ており
ました。



高さ:2m625cm、幅:1m770cm、全長:4m85cm。
巨大です!! 3/22納車撮影



2021/1月号でご紹介致しました「若手アルバイト須田雄大さん(25歳独身)」が作っているほうれん草を食べたくて、先日購入しました。長さ50cm、肉厚で茹でも、炒めても、生でも良し!!甘みがあり食べ応え十分にありました。他にさやいんげんも以前購入しましたが、やはり肉厚で甘みがありました。スーパーでは買えない旬野菜を美味しく頂きました。3/25購入



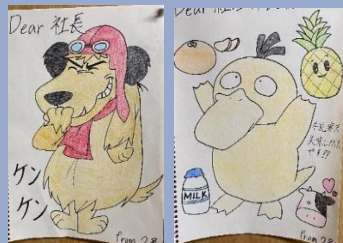
お披露目にいらしてくれました



アシスト唯一の若手従業員の農耕部長:遠藤雄大さんに待望の男の赤ちゃんが1月23日に生まれ、先日、パパ、ママと3人で事務所にお披露目にいらしてくれました。このコロナ禍、事務所入り口にある消毒でアルコールまみれにして感染の予防に務めた上で20年ぶりに見る赤ちゃん。時間を忘れる程いつまでも見ていられる可愛さ。子育ての大変さが愛しさに変わり、生長する子供の幸せを感じられた時の事を思い出しました。家族の愛情たっぷり受けている可愛い表情にうっとりしてしまいました。雄大さん!!子供さんの誕生おめでとう!!今まで以上に活躍を期待しています!!アシスト従業員より。



ついに手放す時がやってきました...30年前、農業を継ぐ為初めて借金をして新車で購入した三菱キャンター2tダンプ。運転手側のドアが時々外れそうになる事もありましたが、特に異常な所はなく、迎える車検を機に悩みに悩んで売却しました。愛着がわいていた車の別れは淋しい限りです。車内には20年以上常駐していたマスコット:笑いも体格も社長似のケンケンも常駐卒業し自宅の所定の位置で家族を見守っていますが、事務所にもケンケンを!!と絵を得意とする機械整備部長の娘さんをお願いして書いてもらいました!!この春高校生になります!!入学おめでとう!!



おめでとう
絵が全く苦手な
チラシ作成者
は絵が描ける
人をとても
尊敬致します..

鶴岡のお米 お召しあがり下さいませ

農作業の様子や庄内、鶴岡を
独自のコメントで毎月発行する
チラシで届けしています

生産者 株式会社 アシスト

農作業の様子をご紹介します

(株)アシスト
2021.4月



ココ(畦畔)を取り壊した後、均平にする作業を行います



車内装置で確認しながら均平を図ります

1枚目でご紹介致しましたこの写真は、田んぼと田んぼの間にあるあぜ道(畦畔)を取り壊し、2枚の田を1枚にする為のトラクター取付機械「レーザーレベラー」を使用した作業写真です。取り壊す事であぜ道を渡る手間が防がれ時間の短縮に繋がります。隣県でも所々に見られます。

圃場編…作業工程① サブソイラ

天気の良い間と田んぼの乾き具合をみてトラクター取付機械「サブソイラ」を用いて溝を付けます。この作業により土の中の空気が入り透水・排水性が向上される事ができ、根からの栄養分も豊富に吸収され健全に育つ事が期待されます。主に大豆の圃場に使用します。



田に溝をつける取付機械「サブソイラ」



圃場編…作業工程② 畦畔塗り

冬を越えた畦には表面からは見えないモグラやケラ等が開けた穴や割れ目がある事が多く、水漏れ等の被害を防止する為、アシストでは一度、重量のあるトラクターで踏みつけてからの田んぼの土を塗りつける作業(畦畔塗り)を行います。丁寧な加工が鉄則なので超・超低速運転作業にな



あぜ道の加工取付機械「畦めり機」



種子編…作業工程① 種子袋詰

皆様にお届けするお米の種(はえぬき・つや姫・雪若丸)は農協から購入しており、浸種(種を水に浸す作業)を行う為に袋詰めをします。

水が吸収しやすい袋へ詰め替えを行います



種子編…作業工程② 床土搬入

播種作業の際、苗箱に種を蒔く為の土(肥料入床土)と蒔いた種の上にかぶせる土(覆土)の準備として毎年業者より搬入しています。フレコンバッグ合計50本以上の搬入作業を行っております。

種子編…作業工程③ 浸種

種蒔時期の決定から逆算して浸種を行います。種籾を薬剤に浸けた後、発芽しやすいように種に水分を十分に吸収させます。



ハウス編…作業工程① ハウス修繕

播種作業後田植までにビニールハウスにて育苗しますが、今年は暴風で破損した数カ所の修繕作業から始まりました。冬期間も大雪でハウスが潰れないよう積もった雪の除雪作業も休日返上で行いました。



次回号からも少しずつ作業状況をお伝えして参ります。どうぞ時間の許す限り御拝読いただけたら幸いです。